

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2022年11月)

2022年12月  
在アルジェリア日本国大使館

**内政**

- 5日、ビダリ高等教育・科学研究相は、翌年のドローン技術に関する高等学校の立ち上げについて言及。
- 7日、外務・在外自国民コミュニティ省は革命68周年記念式典を実施。
- 14日、テブン大統領は閣議を開催。軍法に関する法案、接收財産管理当局の創設に関する法案等を審査。2023年1月以降、給与・退職年金・失業年金を増額するための適用条文の策定を指示。また、海水淡水化に関する研修機関の創設や自動車製造・代理店の活動に関する仕様書の17日の公開を指示。
- 14日、放送規制局は、社会と宗教の価値に反する放送を行ったとしてテレビ局Al Adjwaaの閉鎖を決定。
- 15日、ベンアブドゥルラフマーン首相はアルジェにて、700の市民団体代表が出席する市民団体会議の開会式に出席。
- 15日、テブン大統領はエネルギー高等評議会を開催。
- 21日、国民議会（下院）と憲法裁判所の間で、機構間協力強化のための協定が署名された。
- 24日、アルジェ犯罪裁判所第一審は、2021年の森林火災時に生じた殺人事件につき、実行犯49名に死刑を宣告した他、MAKの指導者Ferhat M'heniを終身刑に処し国際指名手配する判決を出した。
- 27日、テブン大統領は閣議にて、鉄道・国道敷設等のティセムシルト県地域開発計画、海運・航空網発展に向けた加速等を指示したほか、地方自治体改革の必要性を強調。30日、この指示を受け、ベンアブドゥルラフマーン首相はティセムシルト県（アルジェから南西に約200km）にて、同県の開発計画に関する政府会合を開催。
- 30日、テブン大統領は、仏アルジェリア歴史家混合委員会のメンバーであるアルジェリア人歴史学者5名と面会。

**外交**

- 2日、アラブ連盟サミットが閉幕。アルジェ宣言を採択。
- 2日、テブン大統領は、アラブ連盟サミット参加のため来訪中のヨルダン皇太子の表敬を受けた。また、ソマリア、コモロ大統領とそれぞれ会談を実施。
- 2日、アッバース・パレスチナ大統領は、アルジェリア政府から供与されたパレスチナ国公邸建設用の土地において定礎式を実施。
- 3日、当国外務省は、ティグライ情勢和平合意を歓迎するコミュニケを発出。
- 4日、ラルビ・ジャクタ候補が国連国際人事委員会委員長に再選。

- 5日、ラマムラ外相はナイジェリア外相とビジネス評議会の設立に関する二国間協定に署名。
- 7日ー8日、テブン大統領はCOP27に出席。そのマージンで、蘭首相、伊首相、ブルガリア大統領と会談。仏大統領、ベネズエラ大統領、ヨルダン国王・皇太子、リビア大統領評議会議長、イラク大統領、ジブチ大統領、南ア大統領、レバノン首相、マリ暫定首相、アラブ連盟事務局長等と立ち話を実施。
- 8日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、チュニジア社会大臣の表敬を受けた。
- 8日、独立選挙機関（ANIE）はベネズエラの選挙管理当局との間で、選挙プロセスにおける協力に係る覚書に署名。
- 10日、シェングリハ参謀総長は、アルジェを訪問した Choughev Dimitri Evguenievitch ロシア連邦軍事技術協力局長の表敬を受けた。
- 10ー12日、ラマムラ外相は、テブン大統領の代理としてパリ平和フォーラムに出席。同会議マージンで、マルタ外相と会談。
- 10日、アルジェリア・ケニア友好議連が発足。
- 10日、アルジェリア・ジンバブエ友好議連が発足。
- 13日、ラマムラ外相は西サハラ「外相」とアルジェで会談、最近の西サハラ情勢につき議論。
- 13日、当国外務省は、トルコにおけるテロを非難する声明を発出。
- 15日、テブン大統領は、スロベニア副首相兼外相の表敬を受けた（ラマムラ外相、ヘラフ大統領府官房長、アルカブ・エネルギー鉱業相同席）。同副首相はラマムラ外相とも会談。2023年から3年間天然ガスを輸入する契約をソナトラックとスロベニア Geoplin 社間で締結。
- 15日、ラマムラ外相はイスラエル国連サヘル治安・発展高等パネル議長（元ニジェール大統領）と面会、サヘル諸国の直面する課題の評価について意見交換したほか、テロ対策や経済統合を通じたアルジェリアのサヘルにおける取組について議論。
- 16日、テブン大統領はイスラエル国連サヘル治安・発展高等パネル議長（元ニジェール大統領）と会談。同議長はサヘル地域の安全と発展には地域諸国の協力が不可欠であり、中でも中核国たるアルジェリアは重要と発言。
- 17日、テブン大統領はアルジェを訪問したキューバ大統領と会談し、キューバへの太陽光発電所の供与、炭化水素供給の再開、キューバのアルジェリア向け債務の利子取り消し及び支払い期限延長を決定。ラマムラ外相、ヘラフ大統領府官房長、アルカブ・エネルギー鉱業相、カッサリ財務相、サイヒ保健相も同席する拡大会合を実施。
- 18日、外務省はパレスチナ・ガザ地区の家屋の火災による被害者に対する哀悼を表明。
- 20日、テブン大統領は、カタール首長の招待により、ドーハにて2022 FIFAワールドカップ開会式出席。
- 20日、ブルガリア国民議会議長（下院）はハマス代表団の表敬を受けた。
- 21日、グジル国民評議会議長（上院）はハマス代表団の表敬を受けた。
- 21日から4日間、リビアGNU政府司法相が司法協力強化のためアルジェを訪問し、テ

ツビ法相や憲法裁判所所長と会談。

- 21日、当国外務省は、インドネシア・ジャワ島における地震災害を受け、同国に対する支持と連帯を表明。
- 22日、シェングリハ参謀総長は、アルジェを訪問したスーダン軍参謀総長と会談。
- 22日、当国外務省にて、アルジェリア・アルゼンチン第7回局長級政治協議を実施。
- 23日、ラマムラ外相は、ニジェールで開催されたアフリカの産業化・経済多角化及びアフリカ大陸自由貿易協定に関する AU 執行理事会会合に出席。
- 26日、ラマムラ外相はチュニジアを訪問、サイド大統領を表敬し、ジェランディ外相と会談。二国間関係に加え、アラブ連盟サミットの成果実行、地域情勢等につき議論。
- 28日、ブデン・チュニジア首相が当地を訪問、ベンアブドゥルラフマーン首相と会談し、テブン大統領を表敬。
- 28日、パレスチナ人民連帯国際デーに際し、テブン大統領は二国家解決とパレスチナ国家の建設を支持し、占領者を非難するメッセージを発信。
- 29日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、リチャード・リズビー (Richard Risby) 英首相特使 (対アルジェリア経済パートナーシップ担当) の表敬を受け、二国間パートナーシップ発展・多角化の見通しにつき議論。

## 経済

- 5日、アルカブ・エネルギー鉱業相は、国民議会の財務・予算委員会で、炭化水素収入は、年末までに500億ドル超 (前年比45%増)、非炭化水素輸出収入は、前年比40%増の見込みと発表した。
- 7日、ゼルーギ外務省国際パートナーシップ担当外交特使は、BRICSへの正式加盟を要請したと述べた。
- 7日、カッサリ財務相は、国民議会 (下院) で2022年補正予算案を示した。1バレル基準価格を60ドル (前45ドル) に変更。本年末の炭化水素輸出は390億ドル、輸入は185億ドルで、外貨準備高は462.8億ドルの見込み。
- 8日、ラマムラ外相と王毅中国外相は、包括的戦略協力第二次5か年計画2022-2026に署名。
- 8日、ヘンニー農業・農村開大臣は、国民議会の財務予算委員会において、2021年の穀物生産は、4,100万キントル (前シーズン比48%増) となり、農業生産は4兆5,000億ディナール (前年比31%増) に達し食料需要の75%をカバーしたと発表した。
- 9日、アルカブ・エネルギー鉱業相はトルコ・エネルギー天然資源相と会談し、同分野における協力強化につき協議。10日、テブン大統領は、同天然資源相の表敬を受けた。
- 10日、カッサリ財務相は、シディ・ウルド・タハ・アフリカ経済開発アラブ銀行 (ABEDA) 総裁と面談し、アラブとアフリカの協力の機会、及びアフリカ市場における ABEDA によるアルジェリア企業への支援の見通し等について意見交換した。
- 10日、レジグ商業・輸出振興相は、国民議会 (下院) 財務・予算委員会において、2023年予算案で貿易・輸出振興事業予算773億 DZD、設備予算88億 DZD、及び砂糖・

製油の補助金は385億 DZD となる旨発表した。

●10日、シェルファ労働・雇用・社会保障相は、下院本会議で政府はこれまでに180万人以上に対し失業手当を給付していると述べた。

●12日、サラワチ漁業・漁業生産相は、APN 財務・予算委員会において、2023年予算法案の漁業分野の予算、及び同分野に関する法律の主要条項を説明し、漁業生産の見通しを、2023年12%、2024年27%の伸び率と予測していると発表した。

●14日、サルミ下院財務・予算委員長は、IMF代表団を迎え、アルジェリアの経済、金融改革について議論した。

●14日、ハッカール国営石油公社ソナトラック総裁は中国シノペックCEOと面会し、両者は両者の協力関係拡大の意思を反映した覚書に署名。

●15日、カッサリ財務相は、2023年予算法案の経済指標、歳出歳入、財政赤字、外貨準備高、貿易収支等を下院に提示した。特に、外貨準備高は、年末に597億ドルに達し、貿易収支は歴史的なレベルとなり、113億ドルの黒字を見込んでいる。

●17日、新車の輸入様式及び自動車製造に関する仕様書が官報第76号で公布された。

●17日、ソナトラックCEOと伊ENIグループCEOは、ウアルグラ県で太陽光エネルギー研究所及び同県ベルキンにおける10メガワットの太陽光発電所の建設工事の落成式に出席した。

●17日、アルカブ・エネルギー鉱業相は、ノルウェーの石油企業エクイノール副社長と会談した。同会談には、環境・再生可能エネルギー相が同席した。

●17日、ザグダール産業相は、4条協議のため当地を訪問したヴェルディエ国際通貨基金（IMF）ミッション代表と面談し、投資支援、産業育成やアルジェリアが実施した施策について説明。IMF側は、アルジェリアの予算改革、特に課税と支出管理の分野で達成された進展と投資支援、統計データ提供面での改革を歓迎すると発言。

●21日、カッサリ財務相は、下院にて2023年予算法案に基づくスタートアップ企業への免税措置、生産設備取得のための10%法人所得税（IBS）の軽減税率、生産活動を行う企業や自由業種の職業活動税（TPA）の廃止、農業活動に対する免税措置などの投資促進強化に向けた措置を説明。翌22日、下院は同法案を可決。

●21日、アルジェリア・チェコビジネスフォーラムが、ザグダール産業相とチェコ産業貿易相の臨席の下、アルジェで開催。

●22日、スィーケラ・チェコ産業貿易相は、アルカブ・エネルギー鉱業相及びザグダール産業相との会談に加え、ベンアブドゥルラフマーン首相を表敬。

●25日、アフリカの産業化・経済多角化及びアフリカ大陸自由貿易協定に関する第17回アフリカ連合（AU）特別首脳会合がニジェールで開催され、ベンアブドゥルラフマーン首相が出席し、外相、産業相、貿易・輸出促進相が同行した。

●27日、ビジネスフランスが発表した統計によると、アルジェリアは欧州向けセメントサプライヤーとして第2位となり、2021年の欧州セメント市場シェアは11%となった。

●29日、アルカブ・エネルギー鉱業相は当国を訪問中のシャバゾフ・アゼルバイジャン・エネルギー相との間で、エネルギー分野での協力に関する覚書に署名。

- 29日、ステランティスグループは、自動車製造に関する仕様書の公表を受け伊F I A T社の自動車製造プロジェクトに関してアルジェリア投資促進庁（A A P I）と新たな合意書に署名。
- 29日、産業省は、アルジェリアの鉄鋼輸出額が2022年末までに15億ドル超に達する予測を示した。
- 29日、ブラジルの投資による洗濯機用電動モーター製造工場の開所式がセティフ県で行われ、出席したザグダール産業相は、本件は投資新法の有効性を示しているとした。

## 治安

- 2日、国軍は10月26日から11月1日までの掃討作戦でテログループ支援者9人を逮捕した上、ティパザ県及びシュレフ県において隠れ家2か所と手製爆弾4個を発見し破壊したと発表。
- 9日、国軍は2日から8日までの掃討作戦でテログループ支援者7人を逮捕したと発表。
- 16日、国軍は9日から15日までの掃討作戦でテログループ支援者3人を逮捕した上、ティパザ県において手製爆弾14個を発見し破壊したと発表。
- 16日、国軍は9日から15日までの期間に実施した掃討作戦で、アルジェリア全土にてテログループ支援者3人を逮捕するとともに、ティパザ県で手製爆弾14個を発見し解体した旨発表。
- 24日、国軍は16日から22日までの掃討作戦でテログループ支援者7人を逮捕したと発表。
- 29日、警察は、I C P O本部の捜査依頼（8月発出）を受け、外国にて身代金目的で誘拐されたコートジボワール国籍の子供（11歳）を、アルジェ県ブザレア地区の集合住宅内で発見し解放、子供を監禁していた犯人の1人（外国籍）を逮捕した。
- 30日、国軍は23日から29日までの掃討作戦でテログループ支援者9人を逮捕したと発表。

（了）